

第 16 回上天草市環境審議会議事概要

日時：平成 27 年 11 月 25 日（水）14 時～15 時 40 分

場所：上天草市役所大矢野庁舎書庫棟 2 階会議室

■審議会委員

No.	所 属 等	氏名（敬称略）
1	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター	逸 見 泰 久（会長）
2	崇城大学工学部エコデザイン学科	田 代 敬 大
3	上天草市区長連合会	森 山 高 信
4	天草漁業協同組合上天草総合支所	北 岡 久美子 ※欠席
5	上天草市商工会	瀧 下 夕 秀 ※欠席
6	一般社団法人天草四郎観光協会	木 下 朋 江
7	特定非営利活動法人シートラスト	嶋 田 昭 仁
8	熊本県地球温暖化防止活動推進員	松 本 俊 介
9	市教育委員会	福 田 直 理 ※欠席
10	公募委員	藤 本 正 ※欠席

■事務局及び関係者

1	市民生活部 環境衛生課 課長	井手口 康 隆
2	市民生活部 環境衛生課 課長補佐	森 口 真喜男
3	市民生活部 環境衛生課 衛生係長	古 賀 忠 明
4	市民生活部 環境衛生課 環境係長	濱 田 忠
5	市民生活部 環境衛生課 環境係	吉 野 誠

■次第

第 16 回環境審議会	配布資料
1 開会	資料 1 平成 26 年度環境に関する市民アンケート調査報告書 資料 1-1 市民アンケート調査結果の推移 資料 2 環境基本計画における数値目標（指標）の実績調査結果及び評価 資料 2-2①基本計画の見直しと②温暖化対策実行計画（区域施策編）策定について
2 議事 (1) 環境に関する市民アンケート調査結果報告について (2) 上天草市環境基本計画の見直しについて (3) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について (4) その他	
3 閉会	
	付属資料 上天草市環境基本計画概要版 資料 3 第 5 章 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

■議事要旨（◎：議長、○：委員、●：事務局）

1 開会

◎議長

それでは、ただ今から第16回環境審議会を始めたいと思います。今回も事務局が録音のうえ、議事概要を作成します。

それでは議事に入ります。まず一番目、環境に関する市民アンケート調査結果報告について事務局よりお願いします。

2 議事

（1）環境に関する市民アンケート調査結果報告について

●事務局

資料1平成26年度環境に関する市民アンケート調査報告書、資料1-1市民アンケート調査結果の推移の説明

◎議長

ありがとうございました。それではただ今の説明に関して質問か意見等ありましたらお願いします。

16歳から19歳の年齢層の回答数が6人ということで少ないですね。人口の比率を考えると、ランダムに抽出するのがいいとは思いますが、他に比べると半分しかありません。10代としてまとめてしまうと、ここだけ16から19歳となって他の年代の半分しかありませんので、倍の数を発送するなどの検討をお願いします。

○田代委員

今の意見に関連しますが、10代と20代を合わせるのが標準的な考え方ではないかと思います。

◎議長

あるいは注釈に10代の回答は6人ですというように記載してもよいかと思います。10代の認識が低いと思われるかもしれませんが。

●事務局

表記の方法については今後検討していきます。

○森山委員

アンケートの回収率が低いと思いました。返信用の封筒もつけるのですか。

●事務局

返信用の封筒をつけています。質問数も比較的多いですので回答に時間がかかることも要因の一つかもしれません。

○田代委員

アンケートの内容の作成に携わりましたが、当初は毎年アンケートをなさるとは思っていませんでした。推移をみたいのであれば毎年実施された方がいいと思います。この場合は、割合というよりもどのように変化しているのかをより確認できます。また、5年や10年で1度という単位で実施される場合は、地区の区長さんなどをお願いして、精密な調査をやることもできます。

◎議長

初年度はそのような形でお願いされましたか。

●事務局

初年度は事業所から回答をいただいたり、市役所の窓口でアンケートに回答できるようにしていただきましたので、回答数が多くなっています。基本計画が10年の計画期間ですので、やり方としては変えずに実施した方が重要かと思います。

◎議長

ランダム抽出のため、毎年当たっている人はほとんどいないと思いますので、やり方を変えないことは良い点だと思います。他にご意見がないようでしたら議題の2番目、上天草市環境基本計画の見直しについて事務局より説明をお願いします。

(2) 上天草市環境基本計画の見直しについて

●事務局

資料2 環境基本計画における数値目標（指標）の実績調査結果及び評価の説明

◎議長

ありがとうございました。それではただ今の説明に関して質問か意見等ありましたらお願いします。

○嶋田委員

稚魚の放流事業ですが、市（農林水産課）の予算で実施されていますか。

●事務局

おそらく県の予算もあったかと思いますが、詳しくは農林水産課に確認します。稚魚の数については、生育数を伸ばすため、ここ数年ではより大きめの稚魚を放流するようになっていることから、数としては減少しているとのこと。

一人あたりのごみの排出量とリサイクル率について何かご意見はございますか。ごみの排出量は増加傾向にあります。市としましては、例えばごみの減量化へ向けて生ごみ処理機や生ごみコンポスト「キエーロ」の購入補助を実施しています。それ以外にも皆様からご意見がありましたら施策の参考にさせていただきたいと思います。

○木下委員

ごみの減量対策は自分自身なかなか実践できていないというのが実感です。極力ごみは減らしたいとは思っていますが、どうやって実践すればよいのかわからないのが現状です。また、ごみをそのまま捨てる場合と、生ごみ処理機を使ってする場合で、どれくらい経費が違うのかがわかるといいと思います。

○松本委員

私は自宅でニワトリを飼っていますが、生ごみはニワトリの餌にしています。紙類はまきストーブの燃料に使用してます。そういうことも上天草ならできると思いますので、ごみは減ると思います。

○嶋田委員

私は旅館を営んでいて、ごみは結構出ますが、以前ニワトリ飼ってました。夏場はニワトリの排泄物が臭くてハエや野犬がよってきます。現在はEM菌を使って自家製のコンポストの中に生ごみを投入して堆肥化させています。

◎議長

リサイクル率はどのような計算方法になりますか。

●事務局

ごみ全体の量に対して、資源化しているごみの量に割合になります。

◎議長

計算方法を記載しておいた方がいいですね。コンポストについては、使い方がよくわからない方が意外と多いです。農家の方でもわかってない人が多くて、完熟しないままのものを地中に入れると硝酸窒素が地下水へと浸透してしまいますので、きちんと技術をもって行う必要があります。

○田代委員

行政がシステム化して、市民が作った堆肥を農家に届けると仕組みを確立しているところがありました。かなり大量に堆肥ができてくる場合は、農家にお届けできるような仕組みができればいいなと思いました。

別件ですが、一人一日のごみの排出量についてですが、旅館やホテルからのごみも含まれていますか。

●事務局

家庭から排出される量になります。

○田代委員

そうであれば、基本計画のごみの排出量の削減には直結しないかもしれませんが、旅館やホテルから排出されるごみは非常に多いと思います。市民が排出するごみだけではなく、そのような事業所から排出されるごみの減量も合わせて市で対策を打ってはいかがでしょうか。そのようにすることで、環境面で市の対外的なアピールにもなると思います。

また、この調査結果と評価については、市役所の各課で確認いただいて、問題がなければ公表された方がいいと思います。

●事務局

毎年ホームページに掲載しておりまして、今回も掲載します。

◎議長

他にご意見がなければ議題の3番目、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について、事務局より説明をお願いします。

（3）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

●事務局

資料 2-2①基本計画の見直しと②温暖化対策実行計画（区域施策編）策定について

◎議長

ありがとうございました。それではただ今の説明に関して質問か意見等ありましたらお願いします。

○嶋田委員

先日、議会の環境懇談会に出席しまして環境教育について議論をしました。以前からこの審議会でも環境教育についてはお話しをしてきました。人は長年染み付いた生活習

慣を変えることはそう簡単なことではありません。ぜひこういう資料をもとに、学校教育で子どもたちに今の地球の現状、市の現状を伝えていく必要があると思います。

○田代委員

資料の3番目の現況推計、削減目標のところは非常に苦慮されたことと思います。正確に表現しないと市民に誤解を招く恐れがあります。考え方によっては、天草は人口が減ればいいのか、産業が衰退すればいいのかと受け止められかねません。環境省のマニュアルに基づいて作成しているのはどこまででしょうか。

●事務局

将来推計までです。

○田代委員

将来推計の部分ですが、「環境省のマニュアルによると」というように表現を付け加えた方がいいと思います。5ページ目のところで、「参考値」のところはアンダーラインかゴシック体にして目立たせるなどした方がいいと思います。

また、目的は「原単位」を減らすことにあります。具体的な温暖化防止への取組みを実施することによって、実質的な原単位を減らしていくと位置付けがよいと思います。また、節電効果のところでは効果を金額で表現してあるところが非常に良いと思います。エコロジーを考えることはエコノミーにもなりますので、そのあたりをもう少し打ち出してもいいと思いました。

○森山委員

今回の計画を広報誌に掲載していただくのがいいと思います。

また、私の地区では事業所から出るごみの分別状況が悪い状況にありますので、指導の機会があればお願いしたいと思います。

●事務局

今の件につきましては、後ほど詳しくお話を伺いたいと思います。

基本計画の見直しと実行計画については、来年度の広報誌にて市民へ紹介する予定です。

○森山委員

区長連合会の活動のスローガンとして、ポイ捨てをなくそうということで取り組んでいます。8年前から始めておりますが、最初の4年はごみの減量化を目指して、各区長にも呼びかけをして取り組んだところでした。

◎議長

5ページ目からが難しいと思いますので、広報誌などで周知する際は、簡潔にまとめればよいと思います。必要なのは基準年度の排出量である197.7千トンをいかに減らしていくかだと思います。推移のグラフもあまり意味がないと思います。

また、単位が抜けています。排出量が自然減少する理由は人口が減少することなので、「～による影響などで」のところは「人口減少により」でいいと思います。また、「一人あたり」という文言について、計算式にはありますが、文章の中にありませんので、そのあたりをもう少し分かりやすく書いた方がよいと思います。できるだけ手短かに書いた方がわかりやすいです。

○田代委員

議長の意見に賛成です。5ページ目から将来予測の部分は、付属資料にしてもよいと

思います。市民の方が読まれるには大変かと。温暖化対策に取り組むことで個人でも経済的にプラスになるし、ひいては地球環境にも寄与するという位置付けがよいと思います。

○嶋田委員

先ほどお話しした議会の懇談会にて、EM菌の話になりまして、市内ではたくさんの方が河川の浄化活動をやっておられるわけですが、当初、この環境基本計画を策定する際に「EM菌」という文言は外そうということで協議をしました。現在多くの方が取り組んでいまして、もちろん皆さん河川をきれいにしようということで励んでいるわけですが、きちんとした検証が必要なのではないかということで、その懇談会の場では環境基本計画策定の経緯についてお話をしたところです。議員の皆さんも、この活動の検証はしないといけないとおっしゃっていました。

◎議長

EM菌に関しては皆さん誤解があって、多くの方々が使っているのはEM菌ではありません。EM菌というのは琉球大学の先生が作った、細菌群がEM菌という固有名称なんです。各家庭でコンポに入っているのは全然違う種類です。また、コンポでは効果があっているんですが、それを川や海に投込むと当然死んでしまいますから使い方を間違えていることが非常に多いです。

もう20年くらいブームになっていますが、この前熊本市で行われた観察会でEMだんごを海へ投げていました。有用細菌群は使い方の問題です。効果を示すために、実際に科学的にデータをとるのは難しいと思います。土壌汚染に関する学会などは、効果がないと言っています。小さい市町村ではEMをしているところがありますから、難しいですね

○松本委員

市民の取り組みのところが省エネ行動一覧はとてもいいと思います。また、アンケートで何をしたいかわからないという意見に対する紹介にもなります。さきほどお話があったように、エコノミーとの動機付けができるのではなかと。目標として、「市民の50%が実施した場合」としていますので、もっとポジティブな表現で、例えばこれらに取り組む市民を「エコ市民」としたり、「〇万人運動」など銘打ってやればいいのではないのでしょうか。

また、計画では「省エネ行動について紹介します」、というようにソフトな表現になっていますが、もっとポジティブに、やる気を出させるようなフレーズにしてもいいと思います。

◎議長

環境目標にもありますが、出前講座のような催しを中心に増やしてもらえるといいと思います。

(4) その他

●事務局

今後についてですが、本日の会議で出た意見を踏まえて1月にパブリックコメント実施する予定です。実施する際に、委員の皆様へ素案を送付します。その後、2月に今年度最後の審議会を開催しますのでよろしくお願ひします。本日はありがとうございました。